

受け入れ企業・参加教員の声

【参考資料2】

受け入れ企業	参加教員
<ul style="list-style-type: none"> ●体験型ワークショップ等での先生方との意見交換を通じて、学校教育と社会人としてのキャリア教育はつながっていることをあらためて認識する良い機会となった。 ●学校における教育と企業における人材育成の問題意識について、同世代の先生方と意見交換することにより得られたヒントを、今後の人材育成において役立てていきたい。 ●未知の分野の研修にも積極的に取り組む、先生方の前向きな姿に刺激を受け、立場は異なるが、学校・企業のそれぞれが、より良い社会をつくる責任を果たしていることに気付くことができた。 ●先生方と仕事に対する考え方や思いなどを共有することができた。業界全体や当社の取り組みについて率直な意見や感想をいただけたことは、多くの気付きを得られる貴重な機会となった。 ●次世代教育支援活動について、教育のプロフェッショナルである先生方からアドバイス等をいただくことができた。 ●研修施設や各工場のモノづくりの現場を実際に見て感じていただいた当社の安全への配慮の取り組み等は、教育現場でも参考にしていだければと思う。 ●教育現場の実情を先生方との交流を通じて伺うことができ、将来入社してくる新入社員の教育はどうあるべきか考えさせられるきっかけになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事の内容やシステム等は教育の世界とは異なるが、目標に向けて工夫・改善に努める点は共通していて、企業の取り組みを体験的に学ぶことで、自分自身の仕事に対する考え方の幅を広げることができた。 ●「自由を重んじ、互いに認め合い、異なるところも受け入れる」という社風に心を打たれた。文化や価値観の違いに縛られない自由な考え方を子どもたちに教えていきたい。 ●企業の人材育成を学び、子どもたちにどんどんチャレンジさせ、失敗経験から気付きを得て学んでいくことができるような教育活動を大切にしたいと思った。 ●企業の様々な活動を知り、「今の世の中に何が必要か」「今後世の中はどう変化していくか」というマクロな視点を持ち、目の前の子どもたちと向き合うことを今一度忘れないようにしていきたい。 ●製品の安全性、質の向上を図るために、日常的に練習と検定を行い、技術力を向上させていることを知った。 ●企業は、ただ性能の良い製品を作ればいいという訳ではなく、いかにしてお客さまの要望を満たしながら利益を生み出すかといった基本的な考えの下にモノづくりを行っているということを学んだ。 ●日本のエネルギー全体についての考え方に触れ、エネルギー・環境教育の重要性をあらためて実感し、どのような授業をしていくと子どもたちへ効果的に伝えられるか考えるきっかけになった。